



## 訪れる人のために

9月21日（日）、お城の跡地である岩室城趾に生い茂った草木を有田市宮原愛郷会の皆さんがきれいに刈りとってくださったおかげで、訪れる人が気持ちよく過ごせるようになりました。有田市宮原愛郷会の会長瀧川勝巳さんは「このような史跡を守っていききたい」と力強く語っていました。岩室城趾から見下ろす有田の景色は絶景です。皆さんもぜひ行ってみてくださいね。



## ボールは友だちさ

9月23日（火）、ふるさとの川総合公園で和歌山県を本拠地として活動しているサッカークラブ、アルテリーヴォ和歌山の選手によるジュニアサッカー教室が開催されました。アルテリーヴォの選手たちは子どもたちを楽しませながら指導し、サッカーに日頃から親しんでいる子どももそうでない子どももわきあいあいと、終始笑顔の絶えないサッカー教室となりました。

## 有田みかん PR in 香港

和歌山県が昨年香港貿易発展局と経済交流の活性化を目的としたMOU（覚書）を締結し、その1周年を記念した経済交流会が9月28日（日）香港で行われました。和歌山県知事をはじめ、望月市長も参加し、有田みかんを香港にも広めるべく、PRしました。有田の美味しいみかんを世界の皆さんにも味わってもらえるよう、販路拡大を目指します。



## 迫力！圧巻の大みこし渡御

けんか祭りである千田祭りが10月14日（火）に行われました。みこしが須佐神社の階段をすべるように下ってくる大みこし渡御は、圧巻の迫力で、みこしを担ぐ人たちも見物客も熱気に包まれました。和歌山市から3年連続千田祭りに来ている方は「他の祭りにはない、派手さや迫力があっておもしろい」と語っていました。

日頃の修練、技、実績をたたえ

# 有田市文化賞



この賞は、本市文化の発展に貢献したと認められる個人または団体に対し、その功績をたたえ市長が表彰するもので、本市における地域文化の向上と振興を図ることを目的に平成5年度に制定され、今回で22回目の表彰となります。今年度の受賞は、次の方々に決定しましたのでご紹介します。

【問】秘書広報課（内線2006）

## 文化奨励賞

御前 明良氏



さらに、作品展である「蟻の会」展を昭和56年から毎年開催され、34回目を迎えられた今年も、多くの鑑賞者が足を運ぶなど、例年好評を博しています。長きにわたり、芸術の魅力を広く伝えられ、本市文化の発展に大きく寄与されています。

昭和16年、有田市に生まれ、現在、山田原在住。



文化功労賞  
蟻の会（代表 武田 和子氏）

受賞者インタビュー  
受賞してのお気持ちは？

昭和55年3月に絵画愛好家の親睦を深めることをきっかけに発足され、県下でもめずらしい任意団体として活動されています。現在、会員数は31名で、全国展で活躍している方も多く所属されています。過去に、本市文化の向上のため、全国公募による「紀州有田市を描く展」を開催され、絵を描く楽しさを広められるとともに、「絵画チャリティー展」を開催され、有田市社会福祉協議会やまちおこしに、収益金を寄贈されるなど、社会貢献活動も行われています。

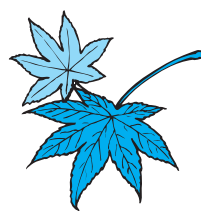
「受賞してのお気持ちは？」  
蟻の会の会員全員の努力の結果だと思っています。  
「どんな思いで活動していますか？」  
会員一人ひとりが助け合い、楽しみながら未来に向かって進んでいきたいと思っています。  
「活動して感じる楽しさは？」  
皆が生き生きと活動していると感じた時は充実感をおぼえます。  
「今後の抱負は？」  
これからも明るく楽しく進めればいいと思います。互いを思いやる心が大切です。

和歌山大学経済学部非常勤講師として、地域の産業文化の研究をされ、「紀州有田みかんの起源」「全国のみかん栽培史と江戸時代の有田みかんの流通」や「除虫菊の栽培と蚊取り線香」の調査研究書を発表されました。また、各地で講演活動も行われています。

文化賞表彰式

日時／11月19日（水）午前10時  
場所／文化福祉センター

表彰式は市民の皆さんもご入場いただけますので、多くのご来場をお待ちしております。



受賞者インタビュー  
受賞しての感想は？  
自分では文化人とは思っていないので、驚いています。  
「どんな思いで活動していますか？」  
生まれ育ったふるさとなので文化面でも発展してほしいと思います。先人の苦勞や伝統技術を伝えていくとともに、文化財、名所も保護していきたいです。  
「活動して感じる楽しさは？」  
調べ物をしていて、探していた文献や参考資料を発見した時、そこから先人の工夫や秘訣を知ることができた時に喜びを感じます。  
「今後の抱負は？」  
健康で、よき仲間と一緒に学べたいなと思っています。